

(10/5 付け UCI ウェブサイトより)

## UCI アジアツアー：Tabriz Petrochemical が支配したシーズンの中での宮澤の勝利

日本の最北端の北海道で開催されたツール・ド・北海道によって UCI アジアツアーの 2008-2009 シーズンに感動的な幕が下ろされた。

UCI アジアツアーの個人優勝については、それまで首位のイラン選手 Ghader Mizbani Iranagh と順位を競っていた選手がツール・ド・北海道に出場していないためそのまま決定となった。

ツール・ド・北海道は 9 月 9 日から 13 日の間開催され、2 名の日本人選手 宮澤崇史(EQA 梅丹本舗-グラフィックデザイン)と西谷泰治(愛三工業レーシングチーム)の興味深い戦いが見られた。両者とも今シーズンの最終ランキングで 8 位以内に位置していただけでなく、日出づる国、日本出身のベストプリンターであることを示した。

結果的には 31 歳の宮澤が勝利した： 初日のタイムトライアルから西谷を 1 秒リードしてリーダージャージを獲得。第 2 ステージに僅差で盛一大に敗れたが、最終日前日の旭川から岩見沢までのステージで 2 度目のステージ優勝を治めた。

一方、エストニアのベテラン選手 Jann Kirsipuu は今回マレーシアの LetuaCyclingTeam に所属し、このツール・ド・北海道を自身の引退後の復帰戦として選んだ。39 歳で、今までツール・ド・フランスで何度も勝利経験を持ち、イエロージャージを獲得したこともある彼は、北海道では第 3、第 4 ステージにおいてステージ優勝を果たした。

宮澤は最後までリーダージャージを堅く保持、UCI アジアツアーの最終ランキングで 8 位を守り、今シーズン中の日本人選手では最高順位となった。

今シーズンはイランの Tabriz Petrochemical Team にとって、エントリーした大会ほとんど全てで他チームを圧倒し、多くの勝利を治める成功した一年であった。

34 歳の Mizbani は今シーズン 3 度の個人総合優勝を治めた(昨年の Tour of Indonesia、イランで開催された Tour of President、そして 5 月にインドネシアで開催された Tour of Singkarak。) 7 月には Tour of Qinghai Lake in China でチームメイトのカザフスタン出身 Andrey Mizurov(アジア選手で初のオークラス大会の勝利)に次いで 2 位、Mizurovha Mizbani より 16 ポイント少ない 368.5 ポイントで最終個人ランキング 2 位となった。

当然、Tabriz Petrochemical(イラン)は 1015 ポイント、2 位の Doha Team of Qatar(イラン)に約 400 ポイントもの差をつけて 1 位となったが、強力な選手達の戦力を持って国別ランキングでカザフスタンがイラン、日本、マレーシア、ウズベキスタンを抜いてトップに登りつめた。

<http://www.uci.ch/Modules/ENews/ENewsDetails.asp?id=NjU5Nw&MenuId=MTYxNw&LangId=1&BackLink=%2FTemplates%2FUCI%2FUCI5%2FLayout%2Easp%3FMenuID%3DPTYxNw>